

講演概要

《1日目：11月18日（木）》	
特別講演 1 13:20～ 14:20 【60分】	<p>浅川 智恵子 氏：日本アイ・ビー・エム株式会社 IBMフェロー 東京基礎研究所</p> <p>【講演概要】 <u>テーマ：ICT利活用によるインクルーシブな社会の実現</u></p> <p>誰もがICTを利用できるようにするアクセシビリティの技術は障がい者の社会参加を大きく助けてきた。例えばデジタル点字書籍や合成音声によるインターネットアクセスの技術は視覚障がい者の教育・就労の幅を広げてきた。</p> <p>現在、超高齢社会に足を踏み入れた日本にとって高齢者も含めた誰もが社会参加できるインクルーシブな社会の実現が大きな課題となっている。この講演ではこの新たな時代に向けたICT技術を展望する。（※「インクルーシブな社会」…誰もが能力を発揮して社会参加できる社会）</p>
特別講演 2 14:20～ 14:45 【25分】	<p>西泉 彰雄 氏：総務省情報流通行政局地方情報化推進室 室長</p> <p>【講演概要】 <u>テーマ：地域情報プラットフォームの今後の展開について</u></p> <p>地域情報プラットフォームを活用したシステム構築を進めることで、地方公共団体内や地方公共団体間等の様々なシステムのスムーズな連携が実現し、業務システムの効率化や住民の利便性向上を図ることができる。</p> <p>国民本位の電子行政の実現が求められている中で、今回の特別講演では、地域情報プラットフォームについて説明するとともに、地域情報プラットフォームの現状及び自治体クラウドへの対応も含む今後の展開について紹介する。</p>
特別講演 2 14:20～ 14:45 【25分】	<p>高地 圭輔 氏：総務省自治行政局地域情報政策室 室長</p> <p>【講演概要】 <u>テーマ：電子自治体の推進に向けて</u></p> <p>利便性・効率性の高い電子自治体を推進する上での課題、当該課題解決のための政府の取り組みや今後の施策の方向性に関して市町村の情報システムのネットワーク利用と共同化を促進するために6道府県78市町村の参加を得て実施中の自治体クラウド開発実証、有識者懇談会の動向などを中心に紹介する。</p>
基調講演 15:20～ 15:50【30分】 パネルディスカッション	<p>國領 二郎 氏：慶応義塾大学総合政策学部 学部長</p> <p>【講演概要】 <u>テーマ：市民が主役となるICT社会の実現</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自治体情報化に二つのモデルがある 2. 情報システムの変革期の到来 3. 市民が主役となる情報システムの構築へ

パネルディスカッション	全体テーマ：市民が主役となる ICT 社会の実現
	<p>豊田 麻子 氏：広島市副市長兼 C I O</p> <p>【講演概要】</p> <p>広島市は、本年 10 月に、時代に即した ICT 施策を市民、企業、大学等と連携して総合的に推進するため、「広島市 ICT ビジョン 2010-2015」を策定した。</p> <p>「ICT 先端都市広島」の実現に向けて提供者側ではなく、ICT ユーザーである市民の視点に立ち、暮らしに身近な事例や先進的な取組などを交えながら、市民生活を豊かにする本市 ICT 施策を紹介する。</p>
	<p>前田 香織 氏：広島市立大学情報処理センター長 大学院情報科学研究科 教授</p> <p>【講演概要】</p> <p>広島市立大学は今年 4 月に法人化されたが、平成 6 年の開学以来、広島市の大学として情報科学部においては研究者がそれぞれの専門技術を生かして、地域に関わっている。</p> <p>今回は広島地域のインターネット利用環境の変遷とそれに応じて、講演者が実施してきた ICT を用いた先進的チャレンジについて述べる。特にここ数年のデジタルサイネージと環境負荷低減に関する取り組みについて詳しく紹介する。</p>
	<p>塩見 信雄 氏：NPO 法人シニアネットひろしま 理事長</p> <p>【講演概要】</p> <p>高齢者層は三大不安「健康・生活設計・生きがい」を持つ。これを解消する最大のツールはパソコンによる情報収集。ICT の光と影＝ソフトの進化スピードに知力、気力、財力が追いつかない。近時のクラウドの利用促進とベンダーへ国の支援を願う。</p> <p>さらに、高齢者層のニーズは多い。所在不明、安否確認、電話サポート、寝たきりの人への周知、徘徊、交通事故など。これらをシステムとして研究開発し、安心、安全な暮らしの実現を期したい。</p>
	<p>松本 時和 氏：パナソニックシステムネットワークス株式会社理事 C T O</p> <p>【講演概要】</p> <p>これまでベンダーが自治体と共に構築してきた情報通信基盤とサービスの主な事例、現在の課題認識および解決のための新たな取組、そして今後の更なる 高度 ICT 社会実現に向けた考えを紹介する。</p>

《2日目：11月19日（金）》

<p>分科会 1 9:30～ 10:00 【30分】</p>	<p>テーマ：「ユビキタスタウン構想推進事業等の成果発表～医療・福祉～」</p> <p>後藤 聡 氏：竹田市福祉事務所 福祉係長</p> <p>【講演概要】</p> <p>高齢化が進む竹田市において、ケーブルネットワークとIP告知システムを有効活用したIP緊急通報／見守りシステムを構築し、高齢者に緊急事態が生じた際に近隣住民、親戚、民生委員、市福祉事務所等の関係者に通報メールを送信し、地域ぐるみで高齢者を見守る。</p>
<p>分科会 1 10:00～ 10:30 【30分】</p>	<p>麻野井 英次 氏：射水市民病院 院長 富山大学医学部臨床教授</p> <p>【講演概要】</p> <p>ICTを活用して、患者の自宅のベッドに設置した生体情報計測システムにより、心拍・呼吸・体温などを常時病院に転送し、双方向性画像転送技術により実時間で在宅患者の病状を聴き観察できるネットワークを構築する。</p> <p>これらの患者情報は毎日 Web カルテ上に統合・保存され、多職種医療チームに共有されることにより、在宅でも入院と同様の診療が受けられる遠隔医療が実現する。</p>
<p>分科会 1 10:30～ 11:00 【30分】</p>	<p>則友 康弘 氏：四国中央市企画財務部企画財政課情報システム室 情報政策係長</p> <p>【講演概要】</p> <p>近年、児童が犯罪に巻き込まれる悲惨な事件が後を絶たず、児童の安全確保が新たな解決すべき地域の課題となっている。</p> <p>四国中央市では、児童の安心・安全を確保する見守り活動の質的向上を図る手段のひとつとして「FeliCa ポケット IC カード」等を活用した地域児童見守りシステムを導入し、現在の全小学校で運用している。</p> <p>システム運用に際して生じた課題やその解決手法、利用者である保護者の声などについて紹介する。</p>
<p>分科会 1 11:00～ 11:30 【30分】</p>	<p>谷川 攻一 氏：広島大学大学院医歯薬学総合研究科（救急医学） 教授</p> <p>【講演概要】</p> <p>本年度、総務省のICTふるさと元気事業（情報通信技術地域人材育成・活用事業交付金）を活用して、広島市で取り組んでいる「救急現場におけるICT利活用事業」について、その概要、現況および今後の課題等を説明する。</p>

分科会 2 9:30～	テーマ：「ユビキタスタウン構想推進事業等の成果発表～観光・交通・産業～」
10:00 【30分】	<p>神志那 貴雅 氏：大分県企画振興部総合交通対策課陸上交通班 主幹（総括）</p> <p>【講演概要】</p> <p>大分県では、公共交通機関である路線バスの利用者数が減少しており、採算がとれないバス路線の廃止をはじめ、マイカーの増加による交通渋滞やCO₂の増加等が懸念されている。</p> <p>この問題を解消するには、バスの利便性を向上させ、マイカー通勤からバス通勤へシフトさせることがポイントになる。</p> <p>このことから、大分地域に導入した待ち時間の解消など、利用者利便の向上に効果的なバスロケーションシステム導入事業について紹介する。</p>
分科会 2 10:00～ 10:30 【30分】	<p>兼尾 明利 氏：北九州市産業経済局 新産業振興課長</p> <p>【講演概要】</p> <p>北九州市小倉都心部の活性化を図るため、中心部の商店街エリアにおいて、ICT技術を総合的に活用することで来街者の利便性と街の魅力アップ、地域の賑わいづくりにつなげることを目的として取り組んだ「北九州ユビキタスマール構築モデル事業」について紹介する。</p>
分科会 2 10:30～ 11:00 【30分】	<p>槌田 義之 氏：財団法人京都高度技術研究所研究開発本部 情報事業部長</p> <p>【講演概要】</p> <p>インターネット上の多言語サービス基盤である「言語グリッド」を活用し、さらに使いやすい機能を開発した。</p> <p>これを活用し、京都市内の商店街、寺院、大学、学校などにおける外国人来訪者や滞在者（研究員、留学生、子ども達）との国際交流活動への利用実験を行った。</p> <p>辞書や用例集の整備を地道に続けることで、都市のさまざまなシーンで多言語交流基盤が有効活用できることを確認したので報告する。</p>
分科会 2 11:00～ 11:30 【30分】	<p>天野 博司 氏：広島市企画総務局情報政策部情報政策課 ICT 連携推進担当課長</p> <p>【講演概要】</p> <p>広島市は、市内中心部の交通結節点や公共施設等にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、市民や観光客等に向け、観光情報、地域情報等をTPOに応じて発信している。</p> <p>また、平和記念公園を訪れた市民や観光客等に対して、携帯・ワンセグ端末等を通じて、平和と観光に関する情報をその場で入手できるサービス「広島P2ウォーカー」を提供している。</p> <p>本講演では、こうした市内中心部における多様なメディアを活用した地域活性化に向けた取組事例を紹介する。</p>

11:35～13:00	<p>視察（各自自由に見学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島P2ウォーカー（観光と平和のモバイル情報サービス）〔平和記念公園〕 ・救急患者輸送時の画像伝送システム〔平和記念公園〕 ・デジタルサイネージ（電子看板）〔平和記念資料館東館、紙屋町地下街シャレオ〕
-------------	--

《2日目：11月19日（金）視察（オプション）》

12:50～13:00	視察（オプション）受付
13:00～15:00	<p>視察（オプション）</p> <p>【視察先】</p> <p>〔教育関係〕</p> <p>視察先：教育ICT化モデル校（広島市立井口中学校）</p> <p>定員：先着20名</p> <ul style="list-style-type: none">・平和記念公園出発（13:00） （バス移動（30分））・広島市立井口中学校（60分） （バス移動（30分））・JR広島駅解散（15:00） <p>〔環境関係〕</p> <p>視察先：環境ICTシステム実験施設（広島市立大学）</p> <p>定員：先着20名</p> <ul style="list-style-type: none">・平和記念公園出発（13:00） （バス移動（30分））・広島市立大学（60分） （バス移動（30分））・JR広島駅解散（15:00）